



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子
児童数 男子508名 女子482名 計990名

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子

9秒997

～陸上 山縣選手の挑戦は続く～

校長 竹内 まゆみ

ジャカルタで行われているアジア大会陸上男子100メートルで、山縣亮太選手が自身の持つ日本歴代2位と同じ10秒00のタイムで銅メダルを獲得しました。レース後、山縣選手は「気持ちの中では7割が悔しさだ。自己ベストに並ぶタイムが出せたという点では3割はうれしいが、9秒台に届かなかったこと、蘇選手（優勝した中国の選手）のすばらしい走りに完敗したこと、さらに最後はオグノデ選手にも負けてしまったことがすごく悔しい」と素直に語りました。

陸上では、選手のタイムを0秒001、1000分の1秒まで計測します。ただ、公式記録上、1000分の1の位は切り上げられるため、9秒99のように100分の1秒の位までで発表されます。山縣選手のタイムは、9秒997でした。しかし、公式記録は切り上げられるため、10秒00になるわけです。9秒台まではわずかに1000分の7秒、距離にして7センチメートルまで迫っていたことになります。

山縣選手は、リオ五輪でジャマイカのボルト選手を驚かせ、見事に銀メダルを獲得した男子400メートルリレーチームの第一走者です。弾丸スタートは世界のトップクラスと言われています。日本人初の9秒台を最も期待されていた選手の一人でした。しかしその後、右足首を捻挫してしまい、ボルトのラストランになった「世界陸上」の切符をかけた日本選手権で敗れ、代表から外れてしまいました。無念の中から、見事に復帰をし、新たなスタートを切りました。山縣選手の9秒台への挑戦は続きます。

さて、2学期が始まりました。子供たちの元気な声が聞かれ、静かだった学校に活気が戻ります。2学期は、学校では音楽会、持久走大会、大貫海浜学園、修学旅行と大きな行事も続きます。十二月田キッズの様々な場面での挑戦を楽しみにしています。

ありがとうございました

今年度のプール指導を安全に終わることができました。酷暑のため、子供たちの安全やプール水の管理にひとときわ神経を使いました。子供たちにとって夏の楽しい思い出の一つとなったことと思います。水泳指導の支援やサマースクールの学習支援、登校の見守りとご協力をいただきました。ありがとうございました。（水泳はのべ1,286名、サマースクールはのべ1,917名の児童の参加でした）

信頼回復に向けての3つの決意（メッセージ）

平成30年7月29日に川口市立小学校教頭が逮捕されました。本事案を重く受け止めるとともに、失われた信頼回復のために川口市立学校（園）に関わるすべての教職員が一丸となって取り組む必要があると考え、緊急にメッセージ「信頼回復に向けての3つの決意」を発出しました。

学校のホームページに掲載しました。